

## <介護老人保健施設>

○問21 あなたが「介護老人保健施設」を利用する上で(または事業所を選ぶ上で)大切だと思うことは何ですか。

- ・個人、家族への対応に気配りをしてもらいたい。清潔に安心して本人が日々をゆったり暮らせるように。
- ・施設で生活していても、自宅に居る様に出来るだけ接触をする時間を持ちたい。スタッフの方への信頼感もとても大切。大切な親を看ているので、感謝の気持ちを持って接する様に心掛けている。
- ・施設を変えることは、本人にとって、身体的・精神的に負担が大きいいため、長い間同じスタッフにみていただけると心強い。
- ・若い人も年をとった人も人間。人として対応して頂ければ嬉しい。
- ・環境の変化によって情緒不安定になるため環境を変えたくない。
- ・個室であること。室内にトイレがあること。
- ・個人を尊重することを大切に考えて欲しいと思うから。適切な介護は、個人個人に合った対応があってこそ可能だと思うから。
- ・基本的なサービスが充実しているところ(事業所)は、職員の対応がきちんとしていて安心感がもてると思う。出来るだけ長期間入所でき、入院等により一旦退所しても再入所しやすいと非常に助かる。
- ・利用させていただいて何はともあれ、安心感を配偶者等が持てる事が第一です。職員の対応、施設の環境整備が充分であれば大満足です。
- ・利用者へのサービス内容に公平さがあり、不公平感がないこと。サービス内容が充実しており、安心して任せられる環境が整っていること。
- ・自宅が施設に近い事、患者の世話を本人、家族共々安心できる施設であること、又、集団生活が苦手な母親の心のケアをして頂け、病院併設ゆえ病状の変化に素早く対応して頂ける事が一番助かります。
- ・本人がイキイキと生活できる施設である事。

・料金は安いにこしたことはない。食事は楽しみの一つなので、美味しい物が食べたい。リハビリにより機能回復を図りたい。時々自宅へ帰る為、近い方が良い。

・自宅で介護ができないので施設の職員の方に安心、信頼してお願いできる事が良いと思います。食事や入浴、排泄は毎日、人間が生きるために必要なことですから基本サービスの充実は大切だと思います。介護生活は長くなる場合もありますので、入所期間が心配で不安になります。

・職員とは24時間向き合うので、人柄や信頼は最も重要と考える。その為には、法人の理念、運営に対する方向性は、利用者家族と話し合う場を持ち説明し、より安全・安心を伝える努力は必要ではないでしょうか。多額の費用を国が負担していることを考えると、運営の透明性、収支報告はあっても良いかと思う。

・9月に母が入所しました。施設を選ぶに当り家から近い所を優先しようと思いましたが、見学にも行きましたが、施設によってサービスの内容・説明に差がある事を実感しました。環境整備にも差があり、入所した施設の細やかな心配りを嬉しく思っています。

・本人が安心して入所し続けることができることが最優先であり、相談員はじめ職員の皆さんが大変良く勉強され、人間的にも信頼できると判断したからこそ入所させて頂きました。もちろん、費用面でも適切で、環境も素晴らしいので、有り難いです。

・本人は家に帰りたい、普通の生活に戻りたいと思っている事を常に意識して頂いて、毎日を少しずつでも良くなる様に工夫している施策や計画実行して頂きたいです。それが感じられる活動を希望します。

・事業所が利用者に常に気遣い、型通りではなく個性を尊重したサービスもしてくれていて、とても満足しています。職員の明るいあいさつもとても好感がもてます。

・本人が心地よく生活できるために、安心できる安全な環境と職員の方々の資質がとても大切だと思うからです。また家族の一員にしてみても、立地のアクセスが便利だったり近いことは、少しの時間で顔を出しに行くことができ、より安心できるような気がします。

・家族としては、清潔で明るい環境で、今の身体能力、智的能力もできるだけ維持し、安全に穏やかに生活して欲しいと願っている。いろいろな条件で在宅看護できない家族としては、度々訪問できる立地が大切だと考える。

・自宅や施設に限らず、安全で健全に過ごす事が大切だと思いますので、出来るだけ

体を動かして健やかにいてほしく思っています。

・親族としては、毎日面会に行けないので、本人が安心して信頼できる施設である事が大切だと思っています。それが分かりやすく現されていれば、利用者本人も気持ちよく過ごす事ができると思います。

・家の近くの施設に入れたのは何よりであり、料金が支払できる内容が一番であり、利用する人が喜んで過ごせる事が一番と考えます。

・年間を通して快適に過ごせる施設でリハビリを受け、車イスも自分で動かせるようにはなったものの在宅復帰は難しいと思う。長期入所となるであろう。経済的なことも考えなくてはと思います。最後は自宅でと思いつつも施設でとなれば看取りも可能であると家族としては安心です。

・病院に入院した後、再入所するのに費やす時間がある為、一定の条件下で再入所出来るようにして欲しい。

・本人が毎日穏やかに過せる事が1番に考えています。それには施設の方々と家の連絡も大切だと思っています。会いに行く日は必ず穏やかな顔をしているかを見ている様に感じます。

・家族思いは基本、サービスはもちろん充実していて、画一的でない利用者個別対応のサービス、持病等ありますので、それに合わせた医療ケア、究極の目標である在宅に向けてのリハビリの充実が大切だと思っています。

・入所時の契約内容が明解で、利用料金が適当であることが、利用者は安心できると思います。又、入所期間が長く、病院に入院しても再入所できるのが良いと思います。利用者の衣類の管理が適切であることを望みます。

・本人の状態に合わせた対応と、長期間一定の施設に入所出来れば本人の不安もなくなり、慣れた場所で過ごせればと思います。

・利用者は独居の為、怪我や病気で入院などした場合は今いる老健に再入所を希望しています。今いる施設はいつも清潔で本人もきれいにしてもらっていて嬉しいです。

・入所している本人が安心できる事、又、家族も会いに行く、洗濯物を取りに行くなどを考えると立地も大切かと思った。

・立地が自宅から近いと家族の者が通いやすい。病院に入院した後、再入院出来ない

と次の施設を捜すのが大変で入院していても心配。職員の対応に安心感、信頼感が持てればほとんどの事は安心して任せられる。

・限られた財産の中から料金を支払っていく事になり、金銭的に料金が膨れていく事には不安があります。介護を受けている者にとって自宅で暮らす事が一番ですが、それが出来ないから施設に預けられているので不安、不満、不便が日常生活に伴います。そんな生活の中、職員の暴言&暴行など精神的での不安要因が重なれば、症状進行悪化になるのではと危惧します。人は年を重ねる度に精神、肉体が衰えます。肉親が介護するのは当たり前なのですが、肉親だけで看取るとどうしても感情移入になりがち、そんな時第三者的に冷静に対処出来る施設（安心して任せられる場所）があれば気持ちにゆとりも出来、介護も出来ると思っています。立地が自宅に近ければ行き来もしやすく何かあってもすぐに行ける事です。

・足が不自由で認知症がある為、本人にとって少しでも居心地のいいところであってほしいと思い、事前に下見をさせてもらい、介護老人保健施設を選びました。自宅から近いので、度々本人の様子を見に行けるので助かっています。

・施設にいても少しでもリハビリなどをして、施設内で世話にならず自分のことが出来るようになるように希望を持たせたいです。施設内でもお友達として同じような境遇の人とコミュニケーションがとれたらいいなと思っています。なるべく寝たきりにしないように、家族が気軽に散歩など連れ出すように許可を出してほしいです。利用者を病人扱いしないでほしい。

・栄養管理、衛生管理が充実していることが、最も大切だと思います。そこから、ゆっくりのんびりと介護療養生活できるようになると思います。

・毎日接して頂く方に、安心、信頼してお願い出来る事が有難い。裏表なく、世話をしていると思うと、自宅で世話できないという心苦しさが、おまかせできるという信頼感で安心出来る。

・食事の時間以外でも食堂などで過ごし、ベッドで横になっている人が少ないのは良い事です。やはり入院中は、外出などが出来ないので、食事など変化を持たせてもらえたら有難いですね。

・高齢者の介護は本当に大変だと思います。色々なことがあっても（例えば、ケガなどの事故とか）きちんとしたコミュニケーションが大切だと思います。大事な家族を任せるわけですから、職員の方々への安心感、信頼感を持てることが重要だと思います。

- ・職員さんの目がどれだけ行き届いているのか。「今日はこんな感じでしたよ」と話しかけてもらえると、ああちゃんと見てくれてるんだなと安心する。とても家で見れる状態ではないので、長期入所ができたり再入所させてもらえるので大変助かります。
- ・介護について本人、家族の負担を軽減する為には、捻出できる費用の中で最大限のサービスを提出してもらえ事は信頼、安心感にもつながりますし、良い環境の施設には良い人材も集まると考えます。現状、週2回程度の面会しか出来ていませんが、仮に急な連絡を受けても30分以内に来訪できる立地である事にも安心感を持っています。

- ・衛生的で安心してお願いできる施設である事が必須です。特に入居者にとって食事は最大の楽しみと思います。最大の配慮をお願いします。